

名古屋三河道路

の早期実現に向けた

要望書



令和4年11月

愛知 県
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会

要 望 書

記

本県は、自動車産業を始めとした世界に誇る産業の集積地であり、製造品出荷額等は約4兆円と44年連続日本一となるなど、「産業首都」として日本経済を牽引しております。

また、東京・名古屋間で建設工事が進められているリニア中央新幹線の開業は、本県と首都圏の時間距離を大幅に短縮させ、さらに大阪までの全線開業により、三大都市圏が一体となった「リニア大交流圏」が誕生することとなります。そのセンターに位置する本県は、自動車産業等の基幹産業の持続的な発展や次世代産業の振興、交流圏拡大に向けた戦略的広域連携、観光の推進など、多様な産業分野において力を発揮し、世界中から人・モノ・カネ・情報が集まる中京大都市圏の中核としての役割を担っていく必要があります。

高規格道路名古屋三河道路が貫く知多及び西三河地域は、本県の製造品出荷額等の大半を稼ぎ出す、「モノづくりあいち」を牽引する地域であり、現在も新たな企業の立地が進む活力ある地域であります。一方で、地域内の生産拠点から名古屋港、中部国際空港へのアクセス道路となる国道23号名豊道路や国道1号などでは、渋滞が頻繁に発生し、当地域の強みであるモノづくりの生産性に大きな影響を及ぼしております。

本道路は、伊勢湾岸自動車道とダブルネットワークを構築するとともに、高度に集積した生産拠点と名古屋港や中部国際空港などの物流拠点を有機的・効率的に繋いで、平常時・災害時を問わない円滑で安定的な物流確保に大きく貢献します。これらのことから、本道路は我が国の発展に大いに寄与する道路であり、早期実現に向けては、有料道路制度等の活用による財源確保の取組が必要です。

このような中、今年3月に国から示された名古屋都市圏の道路ネットワークの今後の方向性に基づき、本県が主体となり、西知多道路から名豊道路までの優先整備区間の計画の具体化に向け、沿線市町と連携して、しっかりと取り組んでまいります。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

1. 本道路を含めた災害に強い道路ネットワークを構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後においても、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
2. 資材価格が高騰する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、国・地方を合わせた令和5年度道路関係予算総額の満額確保を図ること。
3. 高速道路ネットワークの機能向上、および平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保と生産性向上のため、重要物流道路に位置付けられた高規格道路名古屋三河道路の早期実現を図ること。
4. 特に、西知多道路から国道23号名豊道路までの当面の優先整備区間については、地域の喫緊の課題である境川・衣浦湾周辺等における交通課題へ対応するため、愛知県が推進する路線検討に支援を行うこと。

令和4年11月

愛 知 県 知 事 大 村 秀 章
名 古 屋 商 工 会 議 所 会 頭 嶋 尾 正
一 般 社 団 法 人 中 部 経 済 連 合 会 会 長 水 野 明 久

